

平成 29 年 3 月 8 日

島本町立第二中学校  
校長 西田 敦子 様

島本町立第二中学校学校協議会  
会 長 濱口 美雪

### 平成 29 年度に向けての島本町立第二中学校への提言

平成 28 年度の学校協議会を踏まえ、学校、生徒、保護者及び地域住民がお互いに信頼関係を築き、また、地域の公立中学校としてよりよい学校となるよう以下の提言をいたします。

#### (1) 「学力向上」と「心の教育の推進」について

- ・生徒たちの家庭学習が定着するように宿題や課題の工夫、家庭学習の大切さについてのさらなる啓発（生徒にも保護者にも）をお願いしたい。
- ・知識だけでなく想像力や表現力も高められるような授業、また考えることの意義や楽しさを伝えられるような授業をお願いしたい。
- ・少人数制授業の成果が表れているようなので、その授業体制を継続していただきたい。
- ・制服の自由選択化を図られたように現代の社会問題に敏感に反応し、今後もしじめ問題を含めて、人権、道徳における課題に敏速に対応していただきたい。
- ・中学校 3 年間で生活ルールやマナーの遵守など社会人としての基盤作りを保護者と協力しながら進めていただきたい。
- ・自信を持つことで意欲は向上する。褒めることや達成感を持たせることなど自尊感情を育てる働きかけをお願いしたい。

#### (2) 「学校の組織力向上」と「教育環境の整備」について

- ・子どもを育てていくにはチームワークと信頼関係が大切である。特に管理職を含めた教職員同士の意思疎通は重要である。教員、生徒、保護者間の意見交換はもちろん、教員と管理職も互いに意見を述べあうことができる工夫をお願いしたい。意見交換はお互いが各自の思いこみでなく共有された情報のもとでお願いしたい。
- ・生徒からの意見のフィードバックがタイミング良くでき、それに対する対応もすぐにできる工夫をお願いしたい（具体的には生徒会活動の活性化や受け皿としての学校側の仕組みづくり）。
- ・教職員は生徒と仲良くなるばかりではなく、場合によっては生徒に対してその言動において毅然とした態度でいていただきたい。

- ・ 教職員の後進育成に一層取り組んでいただきたい。そのためには若い人材により困難な役割と責任を与え、失敗を重ねることによって成長させるという方法もひとつであろう。
- ・ 多様な生徒に対応するため、たとえば虐待事象の理解や対応についての研修等を充実していただきたい。
- ・ 学校給食に関して、「食育」についての情報発信の充実や異物混入の際の迅速な対応などを徹底してお願いしたい。
- ・ 学校全体として安全で安心できる環境整備をお願いしたい。

(3) 「地域との連携」と「PTA 活動の活性化」について

- ・ 参観や行事では保護者とのコミュニケーションを心掛けていただきたい。その際には学校からの情報発信にとどまらず、相互に状況を把握でき情報を交換できるようになることが望ましい。
- ・ 防災教室など保護者と生徒そして地域住民が共に学び活動できる行事を今後も継続していただきたい。
- ・ 地域ボランティアの活用について、生徒もボランティアも達成感や満足感が得られるような効果的な活用方法について検討しつつ、さらなる連携をお願いしたい。